



佐藤 博 議員

巡回福祉バス・弥富いこいの里の費用対効果は

質 佐藤博議員

効率的・効果的な行政運営について

(1) 巡回福祉バスと弥富いこいの里の費用対効果を検討するため、それぞれの事業の目的と17年度の必要経費・利用者数を示していただけませんか。

(2) 市制施行により監査委員事務局が独立しました。費用対効果の面から適切な監査を行い、市および議会に適正な監査意見を報告しなければなりません。事務局長の所見をお伺いします。

(3) 当市では、保育士や保健師以外の特定の資格を有した職員、例えば土木建築の関係や社会教育主事などの有資格者は、適材適所に配置されていますか。また、合併後、弥富いこいの里や十四山公民館等、

常勤の部下がない職場に管理職(課長等)が配置されていますが、職責と費用対効果の面から疑問を感じます。こうした配置について、目的・理由を説明していただけますか。

(4) 行政サービスは、ある程度の受益者負担が基本だと思えます。費用対効果の面からも、一律に無料サービスを行うことは問題があり、市の事業の中で見直しが必要なものがあるように思えます。

この際、必要度と費用対効果の面から、情報や資料を正しく公開し、住民の意向調査を行い、その結果を尊重して議会で決定することを提言します。住民意向調査を実施する考えはありませんか。

コストのみで評価できない

答 川瀬市長

(1) 巡回福祉バスと弥富いこいの里は、利用者の多くが高齢者であり、移動手段が限られた高齢者の利便性を図るとともに、利用者の福祉向上と高齢者の社会参加の機会をつくることを目的としています。

福祉施策は、ただ単にコスト上の費用対効果のみで評価できない部分があり、利用者が年々増加している巡回福祉バスは続けていきたいと考えています。

(4) 費用対効果の試算結果の公表や住民の意向調査の実施は、現在のところ考えていません。

答 横井総務部長

(1) 17年度の巡回福祉バスの経費は委託料として3591万円で、利用者数は5万5882人(前年度比約9%増)です。

(3) 有資格者を、資格が生かされる部署に配置することはもちろんですが、法律等により必置義務のある職を除き、長期にわたり特定の部署に固定するよりも、他の部署を経験させることで、幅広い見識を有する職員を育てることが重要であると考えています。

十四山公民館等には、臨時・嘱託職員を配置しており、管理職として配置した職員は、それらの職員の指揮監督または担当業務の運営・管理を行っています。

答 北岡民生部長

(1) いこいの里の17年度の経費は、概算で1790万円ほどで、利用者数は2万492人です。

答 村上監査委員事務局長

(2) 監査では、市の運営が適正かつ合理的・効果的に執行されているかをチェックしており、事務局職員も所期の目的を達成するため鋭意努力しています。